



**問** 厚生労働省は広域連合や市町村が独自の保険料の軽減措置をとれると述べている。市は負担軽減を行うべきではないか。

**答** 県下一律の制度ということで、軽減制度に関しては、広域連合の議会でも議論されるべきであり、市単独での負担軽減の支援策を設ける考えはない。

**問** この制度において、高齢者が保険料の滞納をした場合、保険証を取り上げられ、短期保険証や資格証明書が発行されることになった。これは、所得の低い高齢者の医療を奪いかね

ない。発行をやめるべきではないか。

**答** 保険料の滞納があるからと、一律に機械的に行うものではなく、納付する資力がありながら特段の事由もなく長期滞納する方に対してやむを得ず行うものと考えている。

**問** 後期高齢者医療制度はやめるべきだと考えるがどうか。

**答** 高齢者の方にも一定の負担をお願いし、国民皆保険制度を将来にわたって維持できるようにしていくことを目的としたこの制度に関しては十分理解できるものと考えている。

**新実祥悟（無会派）**  
ハーバーサイドゴルフ跡地の開発状況について

**問** ハーバーサイドゴルフ跡地に大規模小売店等が開店すると聞いているが、既存商店街への影響は。

**答** 市内の商店に影響がないとは言えないが、今のところ市民からの声は届いていない。

**問** 市民の利用しやすい商業施設であれば、雇用拡大、税収の伸びも期待されるが道路用地の買収に市は対応するのか。



ハーバーサイドゴルフ跡地

**答** 現在の開発事業が済み、将来、まちづくりの中で要望路線として申請があれば検討していく。

**生命の海科学館の運営について**

**問** 生命の海科学館は、蒲郡インナーハーバー計画と一体ではないのか。

**答** 科学館と東港はそれぞれ検討委員会で検討していく。

**大向正義（会派がまごおり）**  
蒲郡市医師会の委託費不正受給について

**問** 13年度から6年間分約1億5400万円の委託費の支払い拒否と15年度の精算額2553万円が合意されていないということだが、市の考えを伺う。

**答** 医師会総会では否決されたが、理事会は全員一致で通っている。総会で認められていないという意味だと判断している。

**問** 1年9カ月もの協議が続いてきたが、協議がとまったので、提訴に至ることになった。市の考えは。

**答** 協議の中で決着できなかったが、総会で否決された以上、提訴はやむを得ないと考えている。

**問** 提訴後の市の対応はどうか。また、他の委託事業には影響はないか。

**答** 弁護士に相談しながら対応していく。人間ドックの赤字による撤退を除いて他の事業の撤退の話は聞いていない。

**日恵野佳代（日本共産党）**  
消防の広域化について

**問** 県からの消防広域化推進計画案に対しての回答を伺う。また、広域化の協議に参加する場合は、地域住民・消防・医療関係者等による公開の検討委員会をつくるべきではないか。

**答** 「協議の場には参加するが、市民サービスの向上に寄与しなければ広域化に反対である」と県に表明している。また、検討委員会をつくっていく。

**市民病院の医師確保 県へ強く要望を**

**問** 医師不足対策の新年度予算は、愛知県は6千万円強、京都府は5億円を超えている。予算規模からみて愛知が京都並みにすれば、15億円の対策ができる。県に要望するよう求める。

**答** 大変参考になった。知事や県の健康福祉部へ訴えていきたい。